甲寿園だより

令和５年（2023） 11月号

法人理念：人が人として人とともに豊かに生きる

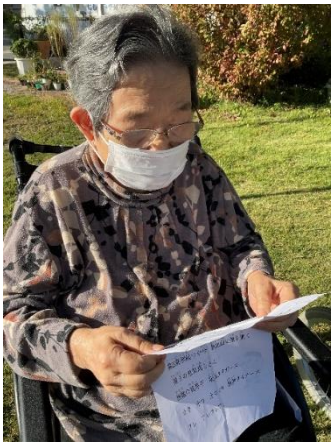
発行　2023年11月９日
社会福祉法人甲山福祉センター
特別養護老人ホーム甲寿園
西宮市甲山町53番地
TEL 0798-71-8236　FAX 0798-73-7303
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ kabuto.01@minos.ocn.ne.jp
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://kojyuen.jp/

甲寿園 facebook
Facebookでも様子を紹介しています
Check！

10月12日（木）秋フェスタ

甲山福祉センターの甲山地区にある甲寿園、にしのみや苑、北山学園の3施設合同で「秋フェスタ」を開催しました。これまでは春に地域の方との交流で「春フェスタ」が行われていましたが、コロナが流行して以降は中止していました。今回は「秋フェスタ」として、ご利用者・園児に楽しんで頂くことを目的として行い、各施設から出し物を持ち寄りました。甲寿園からは有志で六甲おろしの合唱を披露！天気にも恵まれ、楽しいひと時になりました。

司会進行を快く担って下さった北館3階の倉賀野様！台本とアドリブを混ぜて盛り上げて下さり、ありがとうございました！！



北館２階

秋フェスタで
六甲おろしを
歌いました!
楽しかった～

南館３階

秋フェスタが開催されました。参加された皆様方、笑顔がとても素敵でした。来年もできるといいですね！

にしのみや苑の職員平野さんの歌も楽しみました♪

南館２階　ケーキバイキング

皆様甘いものを前に
笑顔が溢れていました
（●^o^●）

北館３階

秋フェスタでは声が枯れるほどの司会をありがとうございました！！

気候が良いのでテラスで外気浴

今月は秋フェスタに外気浴、おやつ作りに園長からのたっての希望で家族懇談会も開催と行事が盛りだくさんの１０月となりました。コロナが流行する前までは４月に事業方針説明とともに全フロア合同で家族懇談会を行っていましたが、コロナも５類相当となり面会緩和も進み始めているこのタイミングでフロア単位での懇談会開催となりました。当日がおやつ作りの日だったので、普段は口頭でしかお伝えできないご様子などを直接見てもらえるチャンスと思い、懇談会前に見学参加して頂きました。『おやつを食べながら少しお喋り』、家族の語らい合う空間にみえました。

団欒とおやつ作り♪

メニューは
栗どら焼き

園長のコーナー 「サンポウヨシナシゴト」

前回からのつづき）

特養ホームで働き始めたばかりの私がナースコール対応をした際、先輩職員である山野さんを呼んできてとおっしゃった女性入居者の高本さん。新入職員の私に排泄介助をされることをためらったからでした。

そのあと高本さんは、「排泄介助を他のベテラン職員に代ってもらった事情」を私自身に対しても直接、申し訳なさそうにかつ明るく話してくださいました。私はそんなそんな、気になさらないでと応ずることができ、高本さんのすがすがしさに救われたのでした。その後も、私は高本さんから多くの学びを得ました。

当時から、排泄・入浴介助は極力同性の職員が介助にあたるようシフトを組み、２名の夜勤を女性のみで組むことはあっても男性のみでは組まないようになっていました。とはいえ、男性職員の私が高本さんの排泄介助にあたる場面は、皆無ではありませんでした。その都度、安楽に側臥位をとる介助の仕方や差し込み便器の差し込みの程度など、細かな点まで高本さん自身からフィードバックを得ました。おかげで、私はみるみる？成長することができました。

入職して半年は過ぎた頃だったと思います。ある先輩職員から、高本さんが私のことを呼んでいると聞きました。ついにキター！とは、まったく思いませんでした。多少は介助が上手くなったとはいえ、私に声をかけてくれた先輩職員のほうが、どう考えても上手に介助されているはずだからです。何のご用だろう？と心配しながら高本さんのお部屋に伺いました。

「小林さん、その時計が壊れてるんやわ。見てくれる？」床頭台においた小さな目覚まし時計が止まっていました。おそらく単なる電池切れでした。裏ぶたをとって電池のサイズを確認し、すぐに事務所まで新品の電池をもらいに行き電池を替えると、時計は動き出しました。「いやー、やっぱり小林さんに言うてよかったわー、ありがとう」

もとい、ついにキター！でした。私が仕事を始めてから初めて、入居者からご指名をうけて介助（支援）をした瞬間でした。一瞬、単純に私は喜びましたが「でも待てよ」とその後もこの出来事について考えました。

まずひとつ、最初に思ったことは「入居者から『わたくし』にありがたくも名指しで依頼を受けた時は、できるだけ速やかに『わたくし』自身が対応できるようになろう」ということです。良し悪しや実態はさておき、一般的には「女性より男性のほうが機械ものの修理に長けている」と思っている方が多いと考えられます。高本さんもそう思ってらしたので、男性の私を選んで名指しで呼んでくださったのでしょう。時折息子さんが訪問面会に見えていましたが、高本さんが社会生活を送る特養ホームには私を含めて5，6人の男性介護職員しかいません。高本さんがいま生きる（残念ながら小さく閉じられた）コミュニティで、『わたくし』の社会的役割に期待を込めて依頼してくれているのだと考えたとき、これに『わたくし』が応えられないのはあまりに申し訳ないことだと感じたのでした。（つづく）

リハビリ室からのお便り

秋フェスタの看板を甲山地区の3施設合同で作製しました。甲寿園のご利用者には背景の夕焼けの貼り絵を手伝って頂きました！

秋フェスタではあいあいホールで作品展も1週間行いました。皆さんが今年作製されたものをお借りして展示しました。ご自分の作品やお気に入りの作品は見つかったでしょうか。

栄養室より　今月の行事食

♪　10月の郷土料理　長野県♪

こだわりの信州そばをお取り寄せし、山菜そばを楽しんでいただきました！
小鉢料理は、もちもちした歯ごたえと、素朴な味がくせになる「おやき」です。

おやつは、
・みすず飴
・銘菓あずさ
・栗のムース
からお選びいただきました！